



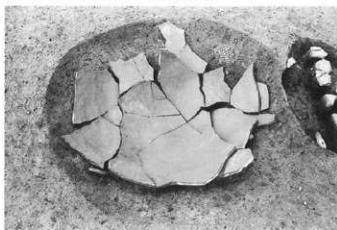
第5号掘立柱建物址 全景(南から)



第8号掘立柱建物址 全景(西から)



土坑1406 遺物出土状況



土坑1410 遺物出土状況



第54号住居址 遺物出土状況



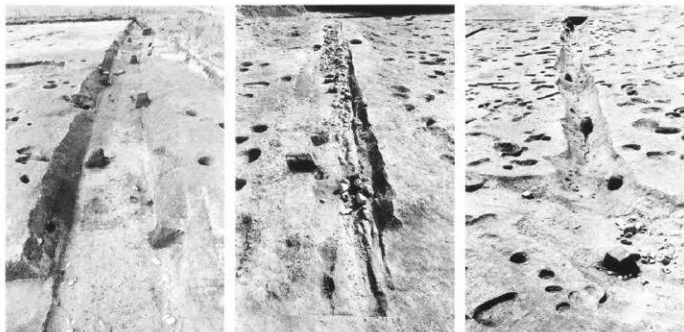
第62号住居址 遺物出土状況



第63号住居址 遺物出土状況



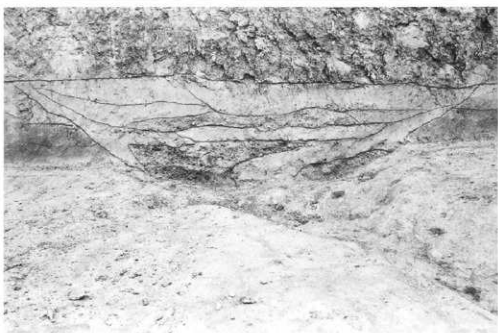
第96号住居址 遺物出土状況



上左：溝11 北半部(南から)
 上中：同上 南半部(北から)
 上右：溝13 全景(東から)



溝11 遺物出土状況



溝13 土層堆積状況
 (調査区西壁・東から)



溝17 全景(北から)



溝23・22 全景(北から)



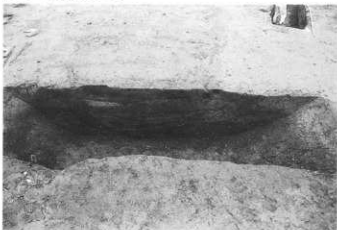
溝18・ピット列18 (西から)



溝24 全景(東から)



溝20 (39) 南部(南から)



溝28 土層堆積状況(C-C'・南から)



溝28 土層堆積状況(D-D'・南から)



4B区東半部遺構分布状況(溝28・33・34・39 他、南から)



4B区遺構分布状況(溝28・33・34・39 他、東から)



4B区南半部遺構分布状況(中世土坑墓群、東から)



4B区遺構分布状況(中世土坑墓群、南西から)



土坑3345 全景(東から)



土坑2931 銅製品出土状況



土坑3046 (火葬墓)



土坑2707



土坑3586



土坑3664



土坑3673



土坑4026



土坑2336 他4B区北部土坑墓群(南から)



土坑2538 他4B区西部土坑墓群(北から)



土坑2619 他4B区西部土坑墓群(北から)



土坑4017 他4B区北部土坑墓群(南から)



土坑3277 他4B区中部土坑墓群(西から)



土坑3568 他4B区西部土坑墓群(東から)



土坑3612 他4B区南部土坑墓群(南から)



土坑3876 他4B区南東部土坑墓群(東から)



墨書「凡」(112)



同左(114)



墨書「中」(83)



同左「子」(829)



土師器杯内面の煤付着状況(839)



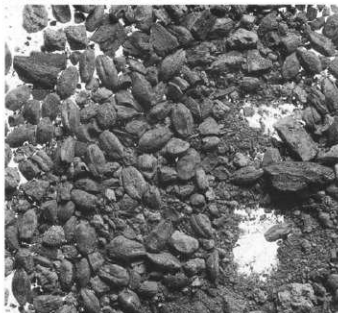
灰釉陶器椀口縁部内面の煤付着状況(1222)



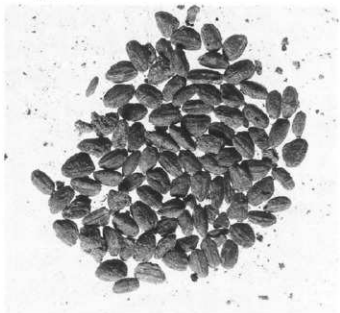
土坑3345出土炭化種子 クルミ



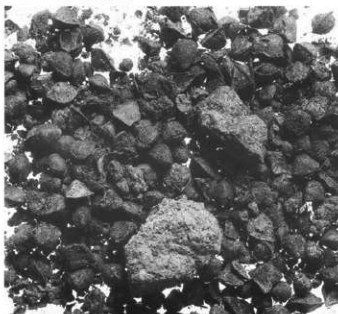
同左 モモ



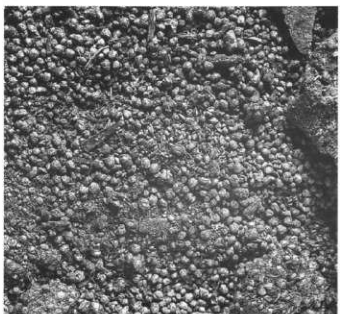
土坑3345出土炭化種子 オオムギ



同左 モミ



土坑3345出土炭化種子 ソバ



同左 アワ

報告書抄録

研究種別	ながのけんまつもとしかわにしかいでんいせき3・4 まつもとししんりんくうさんぎょうだんちぞうせいにとまなうきんきゅうはつくつちようさほうこくしょ							
調査名	長野県松本市川西開田遺跡Ⅲ・Ⅳ 松本市新臨空産業団地造成に伴う緊急発掘調査報告書							
調査年度								
調査内容	松本市文化財調査報告							
調査報告書番号	№162							
調査者名	太田圭郁、竹内増長、竹原 学							
調査機関	松本市教育委員会							
所在地	〒390-0873 松本市丸の内3番7号 TEL0263-34-3000 (代) (記録・資料保管：松本市立考古博物館 松本市中山3738番地1 TEL0263-86-4710)							
発行年月日	2002 (平成14)年3月24日 (平成13年度)							
取りがな	漢字	カタカナ	漢字	カタカナ	面積	調査期間	調査面積	調査経緯
所収遺跡名	所在地	年号	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査経緯
川西開田遺跡	長野県松本市川西開田遺跡Ⅲ・Ⅳ 6172-1他	2020	313	137度54分10秒	36度10分52秒	3A次： 19990420～19980605 3C次： 19980905～19990106 4B次： 20000620～20001004	38,200㎡	松本市新臨空産業団地造成事業
所収遺跡名	種類	所在時期	主な遺構	主な遺物		特記事項		
川西開田遺跡	集落跡	縄文・弥生・平安・中世	弥生：土坑 平安：竪穴住居址79、土坑316、掘立柱建物址15、ピット列17、ピット1422、溝18 中世：土坑1763、ピット572	縄文：石器 弥生：土器、石器 平安：土器・陶磁器(土師器・須恵器・灰輪陶器・緑釉陶器)、鉄器(刀子・銅先・釘・鏝)、銅製品(銅金具・銅板・金銅製品)、石製品、石器(磨石・砥石・礮石)、鉄器、鉄管、炭化材 中世：土器・陶磁器(土師黄土器・瀬戸美濃系陶器・青磁・白磁・青白磁・内耳土器)、鉄器(釘)、銅製品(鏡・刀・鎌)、石器(砥石・石臼)、木製品(漆桶)、骨、炭化種子		9世紀中葉に出現し、11世紀代に盛絶した平安時代の大型落を調査した。その構造は導水目的を伴った区画溝と大型住居を中心とした集落構造。特殊遺物の大量保有等、際立った特徴を有していた。その後12世紀末～16世紀初頭にかけて、大規模な盛滅が形成されたことが判明した。		

松本市文化財調査報告 No.162
長野県松本市

川西開田遺跡Ⅲ・Ⅳ

—松本市新羅空産業団地造成に伴う緊急発掘調査報告書—
古代・中世編

発行日 平成14年3月24日
発行所 松本市教育委員会
〒390-0873

印刷 長野県松本市丸の内3番7号
精美堂印刷株式会社
